



2021年10月5日

各 位

南海トラフ巨大地震を想定したBCP（事業継続計画）訓練の実施について

当社（社長：大田 勝幸）は、10月4日（月）、「南海トラフ巨大地震を想定したBCP訓練」を実施しましたので、お知らせいたします。

ライフラインの一翼を担う当社は、巨大地震や豪雨等の災害発生時においても事業を継続し、最重要責務であるエネルギーの安定供給を果たすためのBCPを策定しています。このBCPの実効性を高めることを目的に、当社は毎年訓練を行い、関係者の習熟を図るとともにその内容の見直しを行っています。

今回の訓練は、本社・国内各現業所（支店・製油所等）間の連携や、災害対策本部への迅速な被災状況の報告といった初動対応手順の確認・習熟等を目的に実施しました。また、訓練参加者間のコミュニケーションをオンライン中心とすることで、リモート環境下での更なる対応力強化に向けた訓練と課題の抽出を行いました。

訓練には、社長（災害対策本部長）以下、本社災害対策本部の役員および従業員、国内各現業所の従業員のほか、一部の物流協力会社等を含む計263名（内、リモート参加者220名）が参加し、サプライチェーン全体での初動対応の実効性および課題を共有しました。

なお、本社災害対策本部における訓練参加者は、新型コロナウイルス感染防止の観点から、マスク着用およびソーシャルディスタンスの確保等を徹底しました。

当社は、BCP訓練を通じてBCPの実効性を高めることで、今後もエネルギーの安定供給という責務を果たしてまいります。

<訓練の概要>

1. 開催日時・場所	2021年10月4日（月）13時15分～17時 ENEOS本社
2. 参加者	合計 263名（内、リモート参加者220名） (1) 大田社長（災害対策本部長）・本社役員 16名 (2) 本社災害対策本部の従業員 160名 (3) 国内各現業所（支店・製油所等）の従業員 85名 (4) 一部の物流協力会社等の担当者 2名
3. 目的	(1) 初動対応手順の確認・習熟 (2) リモート環境下での対応力強化 (3) 災害対策本部への迅速な被災状況の報告
4. 内容	(1) 当日13時15分に南海トラフ巨大地震が発生、本社災害対策本部を立ち上げ、BCPを発動 (2) 非公開の訓練シナリオに基づいて、災害対策本部の各チームが被災情報（従業員の安否、当社現業所および輸送インフラ被災状況、社会インフラ被災状況等）を収集・整理し、災害対策本部へ報告 ※訓練参加者間のコミュニケーションにはオンライン会議システムを使用 ※被災によりインターネットが使用困難になった一部拠点では、被災情報を衛星電話やMCA無線を用いて災害対策本部へ送信 (3) 発災2.5時間後を想定した第1回災害対策本部会議を実施し、今後の対応策について協議 (4) 訓練終了後、チームごとに訓練を振り返り、課題を抽出し、対応策を検討

<訓練の様子>



災害対策本部会議（大田社長）



情報収集を行う本社災害対策本部の従業員

以上